



LBAによる定量（分析法構築）経過報告

- 目的
 - LBAによる定量（TK/PK/Biomarker）における分析法構築に関して，現状と問題点の議論を行う。
- 議論のテーマ
 - ECL，全自動ELISAシステム，ELISAにおける分析法構築
 - Biomarker分析における標準品，組織中の定量
 - LBA担当者の育成



LBAによる定量（分析法構築）経過報告

- 経過報告（ECL）
 - どんなときにECLを選択するか？
 - 固相抗体，検出抗体の希釈緩衝液，種類，濃度，添加容量，反応温度・時間等について
 - サンプル（検量線，QCサンプル，実試料）の希釈緩衝液，種類，検量線の濃度点数，添加容量，反応温度・時間等について
 - 基質溶液の濃度等，重要試薬の組み合わせ．ECLプレートの選択について
 - マトリックスの影響，バリデーション前に確認しておきたい事項について
- 第7回JBFシンポジウムでの発表
 - DG参加メンバーの意見をとりとまとめ，ポスター発表する予定
 - シンポジウムにおいては，実験手法も含めた分析法構築（高感度化，最適化等）の議論の広がりを期待します！

